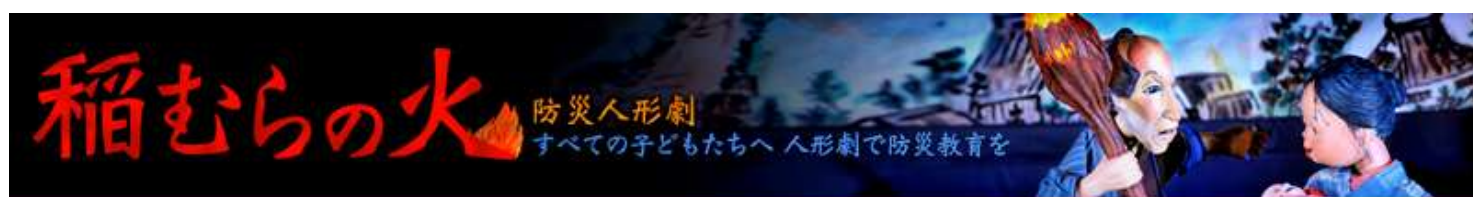


防災人形劇 ～稲むらの火～

東日本大震災 復興応援学生ボランティアグループ『3・11 つなぐっぺし』が「『生きる』防災人形劇 ～稲むらの火～」の上演を主催しました。



3月11日（水）逗子文化プラザなぎさホールで263人の方が（デフ・パペットシアター・ひとみ）の「防災人形劇 ～稲むらの火～」を観ました。



「地震のち津波の恐ろしさ、避難方法」「ろう者が災害時に遭遇する状況を想定し、どう対応すればよいか」「手話」などについて学びました。

『3・11 つなぐっぺし』の紹介

2013年、逗子市の中・高校生が被災地支援ボランティアバスツアーに参加し陸前高田市でボランティア活動をしてきた有志の中高生でつくる、東日本大震災の風化防止や復興応援を目的に自分たちのできる活動を行うボランティアグループです。被災地の現状は、まだまだ多くの支援や気持ちが必要です。

